日本図書館情報学会会報

No.153　　2014年4月

日本図書館情報学会事務局
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1
明治大学 司書課程・司書教諭課程室内
（事務局業務に関する問合せ先）
〒166-8532 東京都杉並区和田 3-30-22　大学生協学会支援センター内
日本図書館情報学会
E-mail：office@jslis.jp　学会ホームページ：http://www.jslis.jp/
ゆうちょ銀行　口座番号＝00160-5-0045759　口座名義＝日本図書館情報学会
ゆうちょ銀行 019 店　口座番号＝当座 0045759　口座名義＝日本図書館情報学会

会長挨拶

本年４月より，会長に選任された小田光宏です。任期となる３年間，会員のみなさま，役員の方々とともに，歩んで参りたいと存じます。

さて，本学会の目的は，規約にも明記されているように，図書館情報学の進歩発展に寄与することです。そのために，学会は学術コミュニティとしての役割を果たさなくてはなりません。学会誌や研究大会・研究集会は，研究成果を交換する場となりますが，単に成果を公表するだけでなく，成果に基づく議論を活発にするための機会であることを，再認識する必要がありましょう。

実は，こうした問題提起をしたのは，私自身が，本学会の現況に関して，危機感とも言える意識を抱いているからにほかなりません。例えば，学会誌は質的に高い記事を掲載しているものの，量的に充実しているとは言い難い傾向が顕著です。ここには，査読その他，学会誌固有の課題が背景にあると予想される一方，編集委員会だけの努力では解決しそうにない根本的な要因がありそうです。今期においては，現況を分析しながら改善を図り，会員の研究活動を少しでも充実させる取り組みを広げたいと望んでいます。そして，会員の積極的な学会活動を促し，学術コミュニティとして，本学会の存在価値を高めたいと考えます。

具体的には，すでに三つの方策に着手しました。

第一は，委員会体制の変更です。これまで，常任理事は，委員会の委員長として，所定の役割を担うものとなっていました。しかし，役割が固定されてしまうため，新たに現れる多様な課題に柔軟に対応することは容易ではありませんでした。そこで今期は，常設とする委員会は，研究，編集，総務の三つとし，３名の常任理事を委員長とするにとどめました。そして，残り３名の常任理事は，その時々の課題解決に取り組む「特命事項担当」とする体制としました。

第二は，本会報の記事をご覧いただくとわかりますが，研究助成の応募要件の変更です。すなわち，科学研究費補助金の獲得を支援することを，要件の一つに加えました。これにより，科学研究費の細目「図書館情報学・人文社会情報学」への申請を中心とする，会員による研究費獲得の営みを活性化させることを目指しています。

第三は，前期までの取り組みに基づく，図書館情報学教育に関する事業の実施です。これは，特別会計を活かしたものとなります。事業の具体的な内容は，いずれ所定の手続きを踏んだ後，会員各位にお示しいたします。たまたま根本彰前会長が，『図書館雑誌』本年４月号に寄稿された記事において，図書館情報学研究と図書館情報学教育が歩み寄る状況が生まれていると指摘され，私に対してエールとも言えるお言葉を記されています。その意味するところの重みを感じながら，邁進したいと念じています。

ご協力たまわりますよう，お願い申し上げます。

2014 年度～2016 年度常任理事会の役割分担

会長　小田光宏（青山学院大学）
副会長・学会賞選考委員長　倉田敬子（慶應義塾大学）
常任理事・研究委員長　吉田右子（筑波大学）
常任理事・編集委員長　三浦太郎（明治大学）
常任理事・特命事項担当　安形輝（亜細亜大学）
常任理事・特命事項担当　石田栄美（九州大学）
常任理事・特命事項担当　野末俊比古（青山学院大学）
常任理事・総務委員長・事務局長　青柳英治（会長指名常任理事，明治大学）

＊ここに示した会長指名常任理事および常任理事の役割分担については，正式には 5 月の理事会で承認され決定されます。

2014 年春季研究集会のご案内

会員各位

会長　小田光宏

2014 年春季研究集会を日本女子大学において，下記の要領で開催いたします。会員の皆様にはふるってご参加くださいますよう，よろしくお願いいたします。

参加を希望される方は，学会ウェブサイトから，所定の期日までにお申込みくださいますよう，お願いいたします。

記

主　催：日本図書館情報学会
日　時：2014 年 5 月 24 日（土）　9:20～17:45
場　所：日本女子大学（東京都，目白キャンパス）
住　所：〒112-8681 東京都文京区目白台 2 丁目 8 番 1 号
https://www.jwu.ac.jp/grp/access.html
最寄り駅：ＪＲ山手線「目白」駅（徒歩 15 分，都営バス（学 05，白 61）「目白駅前」乗車

「日本女子大前」下車），東京メトロ「護国寺」駅徒歩 10 分（4 番出口），東京メトロ「雑司が谷」駅徒歩 8 分（3 番出口）

参加費：正会員 1,000 円，学生会員　無料，非会員 3,000 円

申込締切：2014 年 5 月 17 日（土）

申込先：学会ウェブサイト(http://www.jslis.jp/)からリンクを辿るか，申し込みフォーム（http://goo.gl/6gH9Xs）に直接，アクセスしてください。

備　考：受付・発表会場は，午前が新泉山館 1 階大会議室，午後は 100 年館低層棟 2 階になります。ご注意ください。

2014 年春季研究集会（日本女子大学）プログラム

開始時刻	第 1 会場（新泉山館 1F 大会議室）	
9:20～9:30	開会式	
9:30～10:00	作野誠(愛知学院大学) 「図書館制度・経営論」教育の実状に関する一考察: 平成 25 度司書講習講義概要等の比較から	
10:00～10:30	Youn, You-Ra (Dong-eui university)　Lee, Eun-Ju(Kyungil University) 図書館学の学部生に対する公共図書館文化プログラムの認識教育の現状: One Book One Busan プログラムを中心に	
10:30～11:00	矢崎美香（九州女子大学附属図書館） 学習スキルの向上に資するポートフォリオ型レファレンス記録の構築と効果	
11:00～11:30	栗山正光(首都大学) 大学図書館ウェブサイトにおけるアクセス解析ツール活用の現状	
11:30～12:00	新見槙子(東京大学農学生命科学図書館) 学士課程学生による研究を支援するための大学図書館の取り組み	
12:00～13:30	昼食・理事会	
	第 1 会場（百年館低層棟百 206 教室）	第 2 会場（百年館低層棟百 207 教室）
13:30～14:00	池内淳(筑波大学)　川崎みゆき(筑波大学) CVM を用いた公立図書館の経済評価と抵抗回答の分析	木内公一郎(筑波大学大学院) 長野県高等学校における学校司書制度
14:00～14:30	須賀千絵(慶應義塾大学)　田村俊作(慶應義塾大学)　池谷のぞみ(慶應義塾大学)　三輪眞木子(放送大学)　越塚美加(学習院女子大学) 日本の公共図書館における健康・医療情報サービスの実施状況: 質問紙による全国調査の結果をもとに	塚本美穂(京都外国語大学大学院) 学校図書館における有効な利用法と支援:学校図書館の活用の将来と地域との連携
14:30～15:00	長谷川幸代(中央大学大学院) 公共図書館に対するイメージと利用の阻害要因についての調査	松本美智子(筑波大学大学院) 小学校図書館の評価と利用者の満足度
15:00～15:30	鈴木均(浦安市立中央図書館) 公共図書館児童サービスにおける利用と職員の関与の関係: 浦安市立図書館における事例を元に	庭井史絵(青山学院大学大学院) 探究学習の過程で活用される知識・技能と学校図書館利用指導のあり方に関する検討
15:30～15:45	休憩（15 分）	
15:45～16:15	桑原芳哉(尚絅大学) 図書館整備「反対運動」とその争点: 図書館への「理解」を求めるためには何が必要か	杉山悦子(東京学芸大学) 戦後沖縄の教育改革における学校図書館:1950 年代の空白に着目して

16:15～16:45	呑海沙織(筑波大学) 志賀渉(筑波大学大学院) 溝上智恵子(筑波大学) 公共図書館における高齢者サービスの現状	今井福司(白百合女子大学) 占領期前後における城戸幡太郎の学校図書館に対する関与
16:45～17:15	金丸早希(鶴見大学大学院) 角田裕之(鶴見大学大学院) 公共図書館におけるジェンダー資料の蔵書調査: Amazon の BL 関係リストマニアによる	矢田竣太郎(東京大学大学院) 読書を触発するキュレーションサービスの構築
17:15～17:45	和気尚美(筑波大学大学院) デンマークにおける移民を対象とした図書館サービスを支える体制	雪嶋宏一(早稲田大学) ゲスナー『万有書誌』に収録された印刷本書誌情報の研究調査

＊所属の表示は，教職員（常勤／非常勤）・院生・学部生等を問わず，「機関名」（「大学」等）のみとしてあります。

研究助成の公募

研究委員会

本学会では，図書館情報学振興のために，会員が自発的に計画した研究調査の遂行ならびにその結果の取りまとめに要する経費の一部を助成する事業を実施しています。今年度は①『日本図書館情報学会誌』に原著論文として投稿を予定し研究を行っている研究者，②図書館情報学分野での科研費の申請を予定し研究を行っている研究者，③博士論文執筆のための研究に取り組んでいる研究者を主たる対象として次の要領で募集を行います。研究歴が浅い研究者，外部資金を得にくい条件にある研究者を優先的に支援します。またこれから研究が本格化する萌芽的研究も本助成の対象とします。ふるってご応募ください。

記

1. 助成額

30 万円を 1 件の申請額の上限とする。ただし助成に関する予算総額 100 万円の範囲で，助成額を調整することがある。一定の選考条件を満たした 4 件程度に交付予定。なお審査の結果，申請額が減額されることがある。

2. 応募条件

a. 本学会の個人会員が，個人もしくはグループで行う研究であること。ただし，グループ研究の場合，研究代表者が個人会員であれば， 研究分担者が会員である必要はない。共同研究の人数は 3 人程度とする。

b. 2015 年 3 月 31 日までに研究を終了させていること。

c. 2015 年 3 月 31 日までに所定の書式によって「研究成果報告書」および「会計報告書」を提出すること。

d. 以下のいずれかの要件を満たすこと。

・研究終了後 2 年以内（2017 年 3 月 31 日まで）に『日本図書館情報学会誌』に原著論文として投稿すること。

・研究終了の翌年度（2015 年度）内に科研費に応募し，その申請書を提出すること。

・研究終了後 3 年以内（2018 年 3 月 31 日まで）に博士論文を提出すること。

e. すでに本助成に申し込んだことがある場合，以前の助成の要件が満たされている場合のみ，本年度の

申請を認める。

3. 選考および選考後の報告義務

「研究費助成申込書」に基づいて研究委員会が選考する。結果は応募者に直接通知するとともに，会報に助成者名を掲載する。

・助成者は研究終了後 1 ケ月以内に，領収書の電子複写物を研究委員会に提出すること。

・ 助成者は2. 応募条件の d.に示された要件を満たした時点で,すみやかに研究委員会に報告すること。もし要件を満たせない事情が生じた場合,各応募条件の要件となる締切期日の 1 ケ月前までに研究委員会に連絡すること。その際は，然るべき措置を講じる。

4. 応募方法

・電子メール本文に以下の（1）から（10）の応募項目をコピーする。

・それぞれ一行改行し，各項目について必要項目を記入し，電子メールで応募する。

件名：2014 年度日本図書館情報学会研究費助成申込

宛先：日本図書館情報学会研究委員会　吉田右子

yyoshida@slis.tsukuba.ac.jp

（受領通知メールがない場合，確認のメールを出してください。）

（1）提出日

（2）研究代表者の情報

氏名

ふりがな

所属

会員種別

E-mail

（3）研究分担者の情報

氏名

ふりがな

所属

役割分担

※共同研究の場合のみ，研究代表者以外の研究分担者全員を記入してください。役割分担については，研究の実施計画に対する分担事項等を具体的に記入してください。

（4）研究題目

（5）申請金額（円）　※上限 30 万円

内訳（円）

資料購入費・機器購入費・印刷複写費・旅費・消耗品費・謝金・その他の各金額を示してください。研究計画と経費の整合性を明らかにしてください。

（6）研究の目的（700 字程度）

この研究助成を希望することによって，何を，どこまで明らかにしようとするのか，具体的に記入してください。

（7）研究の意義（500 字程度）

この研究の学術的な特色･独創性および期待される成果等について,具体的に記入してください。

（8）研究の実施計画（800 字程度）

研究目的を達成するための計画・方法について，①これまでの準備状況，②本研究助成金との関連性, の二点を含めて具体的に記入してください。研究目的との整合性を明らかにしてください。

（9）研究成果の発表時期と方法（200 字程度）

2.応募条件 d.のいずれを予定しているか具体的に記入してください。

（10）特記事項（200 字程度）

例えば「大学院生であるため科研費の応募資格がない」等，この助成が必要な特別の事情などがあれば，記入してください。

5．応募締切

2014 年 6 月 1 日（日）必着

2013 年度学会活動貢献賞の報告

前会長　根本彰

標記の賞は次の会員に決まり，副賞とともに授与された。

2013 年度学会活動貢献賞：吉田右子氏（筑波大学）

授賞理由：学会事務局長（2005－2007 年度），編集委員長（2008－2010 年度），図書館情報学用語辞典編集委員長（2011－2013 年度）をはじめとする学会活動への貢献が多大であったため。

なお，本賞の授賞については，手違いにより 10 月 13 日の臨時総会において賞状および副賞の準備ができておらず，後日，授賞ということになった。この点について，同氏にお詫び申し上げると同時に会員諸氏に対しても報告が遅くなったことをお詫び申し上げます。

委員会・事務局より

『日本図書館情報学会誌』投稿募集

『日本図書館情報学会誌』の投稿先は以下の通りです。投稿は随時，受け付けています。投稿に際しては「投稿規程」と「執筆要綱」をご参照ください。（編集委員会）

・投稿先：日本図書館情報学会編集委員会（journal@jslis.jp）
・『日本図書館情報学会誌』投稿規程　2013 年 8 月 31 日改訂
http://www.jslis.jp/journal/c_reg_130831.pdf
・『日本図書館情報学会誌』執筆要綱　2012 年 4 月 30 日改訂
http://www.jslis.jp/journal/w_out_120430.pdf

メールマガジンについて

総務委員会ではメールマガジンを随時，発行しています。掲載・講読希望の方は，総務委員会まで電子メール（somu@jslis.jp）にてご連絡ください。（総務委員会）

2014 年度の会費納入のお願い

2013 年度までの会費未納の方は，未納分も含めて，すみやかに納入してください。

下記あて，お振り込みください。（事務局）

【振り込み先】

ゆうちょ銀行　口座番号＝00160-5-0045759　口座名義＝日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019 店　口座番号＝当座 0045759　口座名義＝日本図書館情報学会

会員情報変更・退会および会員情報管理について

住所，電話番号，所属先，メールアドレス，会員種別等の変更については，学会ウェブサイトの「会員情報変更申請書」（http://www.jslis.jp/membership_3.html）にご記入いただき，事務局（office@jslis.jp）までメールでお送りください。郵送の場合は（事務局業務に関する問合せ先）の住所にお送りください。

なお，退会については特に書式はありませんので，電子メールにて，退会理由を併記のうえ，事務局（office@jslis.jp）までご連絡ください。郵送の場合は（事務局業務に関する問合せ先）の住所にお送りください。（事務局）

事務局体制について

今期の事務局の体制を強化するため，事務局次長を今井福司氏（白百合女子大学）に，事務局員を長谷川昭子氏（日本大学（非常勤））にお願いしております。また，庶務等を円滑に処理するため，アルバイトを採用しております。あわせてご報告いたします。（事務局）

※学会受領資料は，紙幅の都合上，次号以降にまとめて掲載いたします。